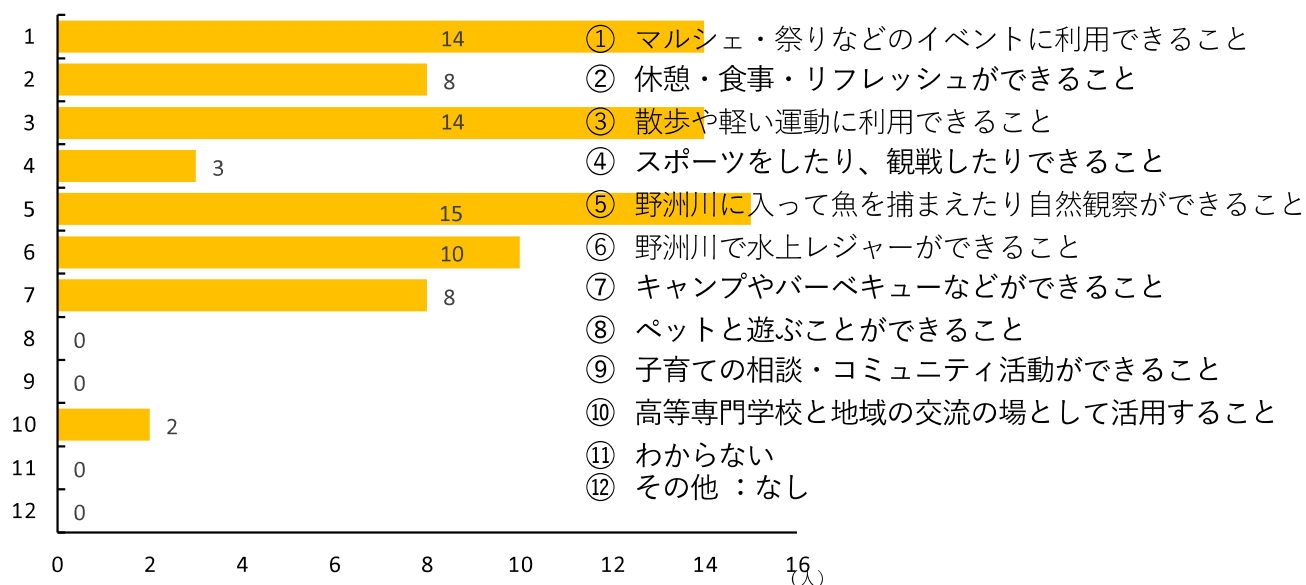


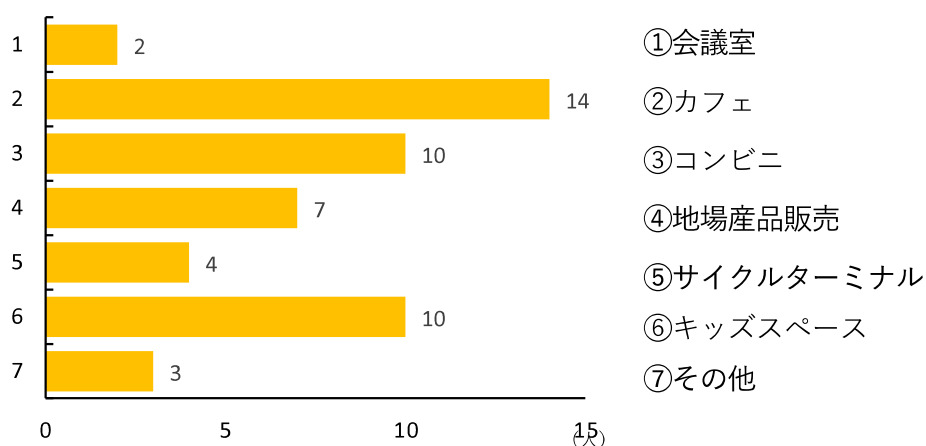
意見聴取結果まとめ

野洲川MIZBEフィールドワーク アンケート結果
実施日：9月21日 回答数：25

- MIZBEステーションは、日常から市民の方々に親しまれ、利活用いただく施設を目指しています。平常時の利活用について、期待する機能を3つまで選んでください。
(N=25)



- 平常時の利活用について、MIZBEステーションに予定している、建物（水防センター）に利活用について、期待する機能を2つまで選んでください。（N=25）



その他：

- ・ 多目的スペース（竹細工・木工細工などのイベント可能、卓球できる、会議室にもなる）
- ・ イベント時の休憩所
- ・ 屋根付きのサッカーコートなど
- ・ 川辺へのアクセスのよさ ・ バーベキューしせつ

野洲川MIZBEフィールドワーク アンケート結果

野洲川MIZBEフィールドワーク アンケート結果

実施日：9月21日 回答数：25

- 今回野洲川を訪れてみて、魅力的だった場所、使ってみたい場所について、どんなところが魅力で可能性を感じましたか。具体的な利用方法についてもアイデアがあれば教えてください。

●どんぐり広場

- ・ 魅力
 - ・ 手作り遊具
 - ・ 子供たちも楽しめる（自然に触れられる・遊べる）
 - ・ かぶとむしの幼虫
 - ・ 木かげが涼しい
 - ・ ワクワク感
 - ・ きれい整備されていて良かった
 - ・ 里山で自然が良い
- ・ 使ってみたい（期待含む）
 - ・ 子供の自然体験
 - ・ キャンプサイト
 - ・ アスレチックなどの設置
 - ・ 「やまの子」のような遠足ができる

●森の中

- ・ 魅力
 - ・ 自然豊か、生き物とふれあい（カブトムシの幼虫など）
 - ・ 遊歩道あって便利
 - ・ 木かげが涼しい
- ・ 使ってみたい（期待含む）
 - ・ 森の散策路も活用してほしい
 - ・ キャンプサイト、バーベキュー
 - ・ 昆虫採集
 - ・ 観察会

●ミニ三上山

- ・ 魅力
 - ・ 見晴らし、景色の良さ（360度見渡せる、川鉢が見える）
 - ・ 登りやすい、気軽に登れる
 - ・ 登山気分を楽しめる
 - ・ 災害が起きたときのための山だと初めて知った。
- ・ 使ってみたい（期待含む）
 - ・ MIZBEステーションにも筑山どこかに造ってほしい
 - ・ そりすべり

●河川敷の遊歩道

- ・ 魅力
 - ・ 自然を感じられる
 - ・ 風があって気持ちいい
 - ・ 車があまり通らず散歩しやすい
- ・ 使ってみたい（期待含む）
 - ・ 広大なエリアであり緑陰あり。
 - ・ 休憩所あり。
 - ・ BBQできるエリアがあれば良い。

●水辺

- ・ 魅力
 - ・ 川下り・ボートが楽しかった
 - ・ 魚とり・生き物採取体験が良かった
 - ・ 水が綺麗
 - ・ 水に触れるのは良い
 - ・ 川の親しみ
 - ・ 自然を感じられる
 - ・ とにかく楽しい
 - ・ 沢山の生物（魚など）がいて驚いた
 - ・ 浅くて子どもも安心して入れた
- ・ 使ってみたい（期待含む）
 - ・ 水辺のアクティビティができるとよい（カヤック、SUP、カヌーなど）
 - ・ 水辺に入れる場所があるとよい（整備され楽しめる、遊べる川になればうれしい）
 - ・ 魚取り・魚つかみできるとよい
 - ・ 魚のつかみどりができてバーベキューで食べられたら良い

問. MIZBEステーションの目指すところについて

野洲川MIZBEステーションの目指すところ

市民とともにつくる、人と自然の好循環を育む『学び』の拠点

①出会い

野洲川と多様な人に出会い学ぶ

- ・ 市民と野洲川との接点となる場所
- ・ 市民同士の出会い・交流・賑わいを通し学び合う場所
- ・ 外の人が野洲を訪れ、野洲を知る、野洲の人・自然と交流・楽しみ・学びを得る場所

②自然

野洲川の自然に学ぶ

- ・ 川と森の自然を体感し、学び、育む場所
- ・ 自然・環境・生物などの市民活動の拠点となり人材育成、学び合う場所

③防災

自然の営みと防災を学ぶ

- ・ 森の管理、川の安全・安心、身近な防災を学ぶ場所
- ・ 河川防災ステーション・地域の防災教育拠点

これまで出てきていない新しい意見など

大切にしたいこと・共感すること

①出会い

- ・ ここに来る理由がある
- ・ ここにしかない場所
- ・ 集まりやすい、入りやすい（高齢者の方も）
- ・ 気楽に・気軽に集まれる
- ・ 新しい発見ができる

②自然

- ・ 子どもが増える、子どもが喜ぶ

③防災

- ・ 体験できる、体験を通して自然に身につく
- ・ 野洲川の歴史、過去の災害を学べる

もっと好きになるためのアイデア

①出会い

- ・ できるだけ禁止にしない
- ・ 交流のコーディネーター役が必要
- ・ 高専との連携
- ・ 様々な使い方ができる

②自然

- ・ 安全に森や川で遊べる、命を守る教育

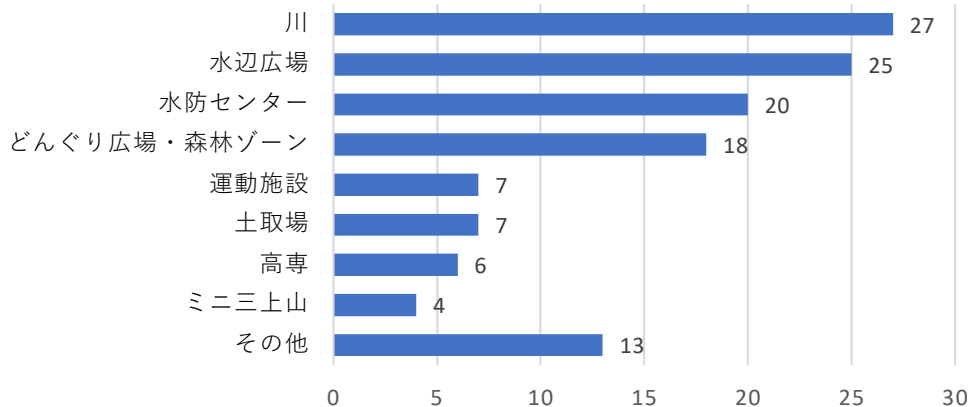
③防災

- ・ 子どもから高齢者まで幅広い年齢の人が学べる
- ・ 小学校などとの連携

野洲川MIZBEワークショップ意見整理

問. 私なら野洲川・野洲川MIZBEステーションをこんな風に使いたい

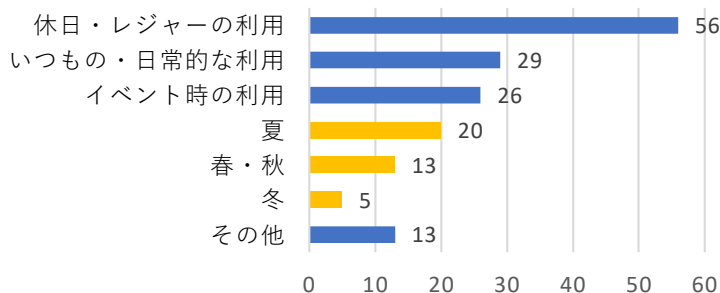
①施設・空間別



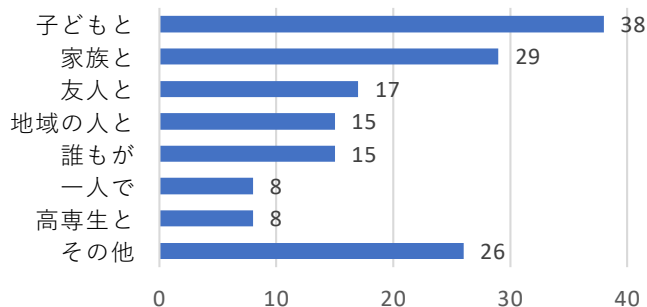
主な意見

- ・ 川：川あそび、魚つり・魚つかみ、水上アクティビティ（川くだりやラフティング）など
- ・ 水辺広場：マルシェ、花火、BBQ、イベントやフェスなど
- ・ 水防センター：カフェ、多目的な利用、災害について学べる、ゆっくり過ごせる（読書や温泉）
- ・ どんぐり広場・森林ゾーン：森林散策・散歩、自然観察など
- ・ 運動施設：屋外球技（バスケットボールやテニスコート）、アーバンスポーツ（スケートボード）
- ・ 土取場：土遊び、ドッグランなど動物とのふれ合い
- ・ 高専：高専生との交流、高専での学びをいかしたふれ合いなど
- ・ ミニ三上山：景色を眺める、遊ぶ
- ・ その他：防災訓練などができること

②利用のタイミング・時期別

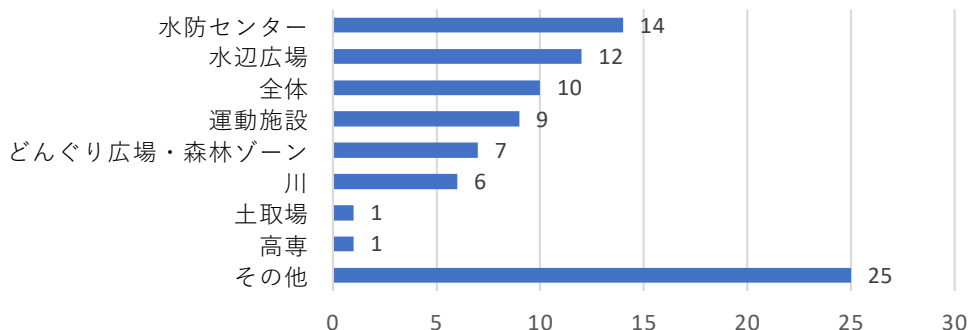


③誰と一緒に、利用者イメージ別



問. どんな施設・空間なら使いやすいか

施設・空間別の意見



主な意見

- ・ 水防センター：季節や気温に対応できる、カフェがある、フリーWiFiやコンセントがある、シャワーや温泉がある
- ・ 水辺広場：BBQや水上アクティビティができる設備がある、集まれる場所がある
- ・ 全体：照明灯がある、デザインが素敵、対岸の守山と共同で考える
- ・ 運動施設：屋根があること、大会に対応できる規格のトラックやコートがあること、トイレがあること
- ・ どんぐり広場・森林ゾーン：遊具がある、ベンチがある
- ・ 川：安全に魚つりなどができる
- ・ その他：交通アクセスがいいこと、駐車場の収益を維持管理にまわすこと

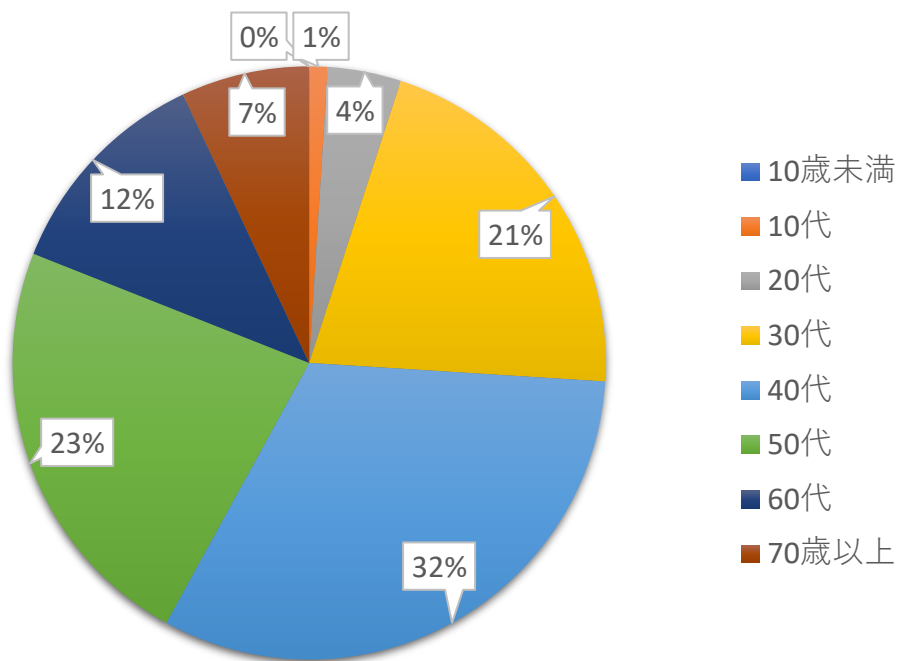
アンケート調査結果

○用語解説

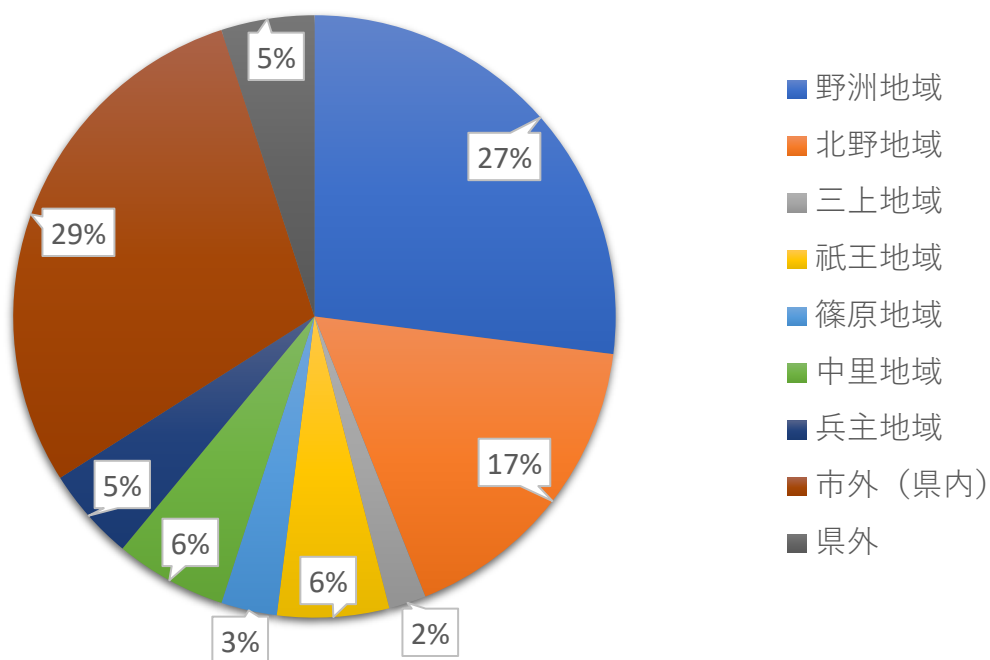
N（母集団のサイズ）：母集団とは、調査や研究の対象となる全体の集合のことです。

n（サンプルサイズ）：サンプルとは、母集団の一部を抜き出した部分集合のことです。

■ 年齢層をお答えください。（N=263）



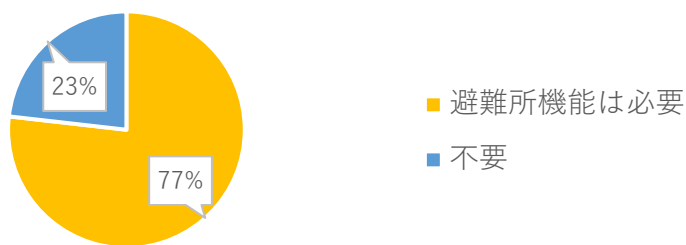
■ 居住地域をお答えください。（N=263）



アンケート調査結果

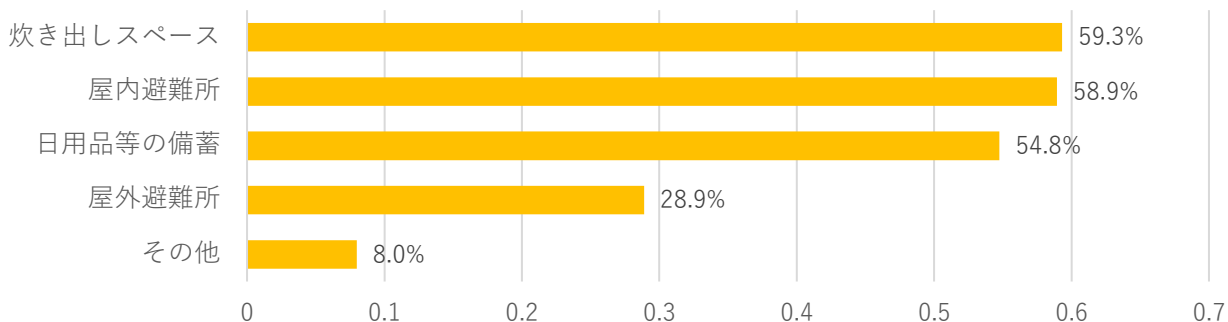
■ MIZBEステーションに住民避難所の機能が必要だと思いますか。（N=263）

避難所の機能が必要か(n=263)



■ 避難所に必要な要素。（複数回答）（N=263）

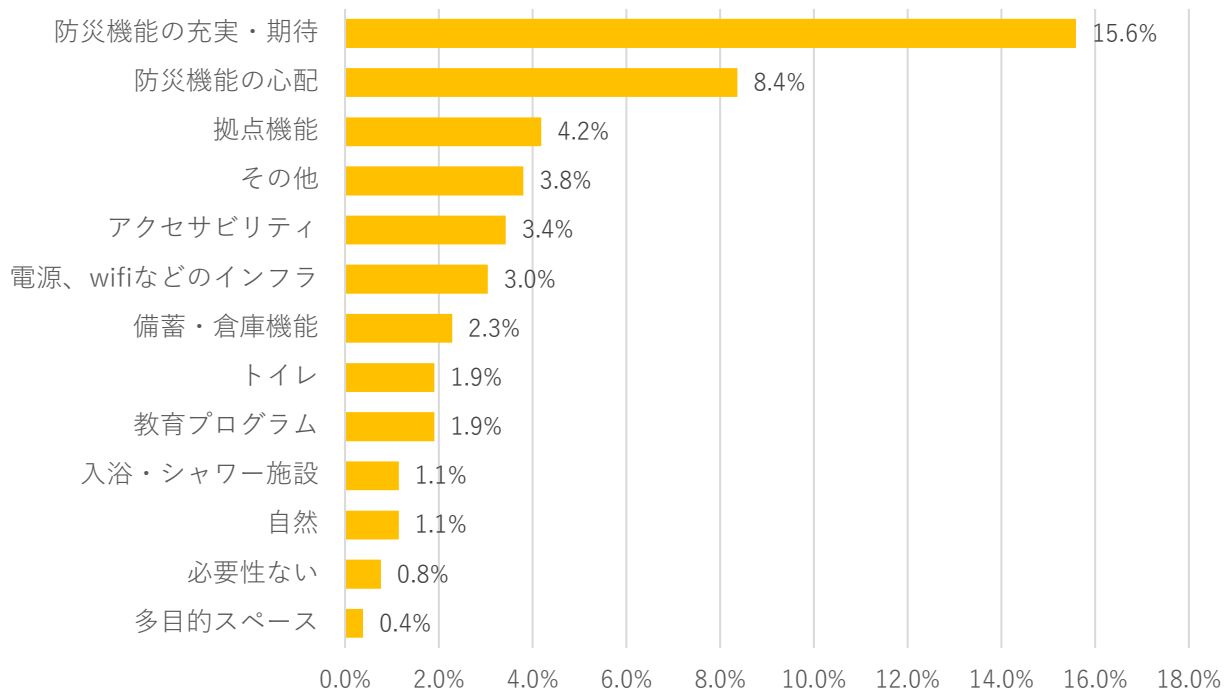
避難所に必要な要素(n=552/N=263)



■ 災害時のMIZBEステーションに期待することや意見。（記述）（n=113）

※下記グラフは記述をカテゴリ整理

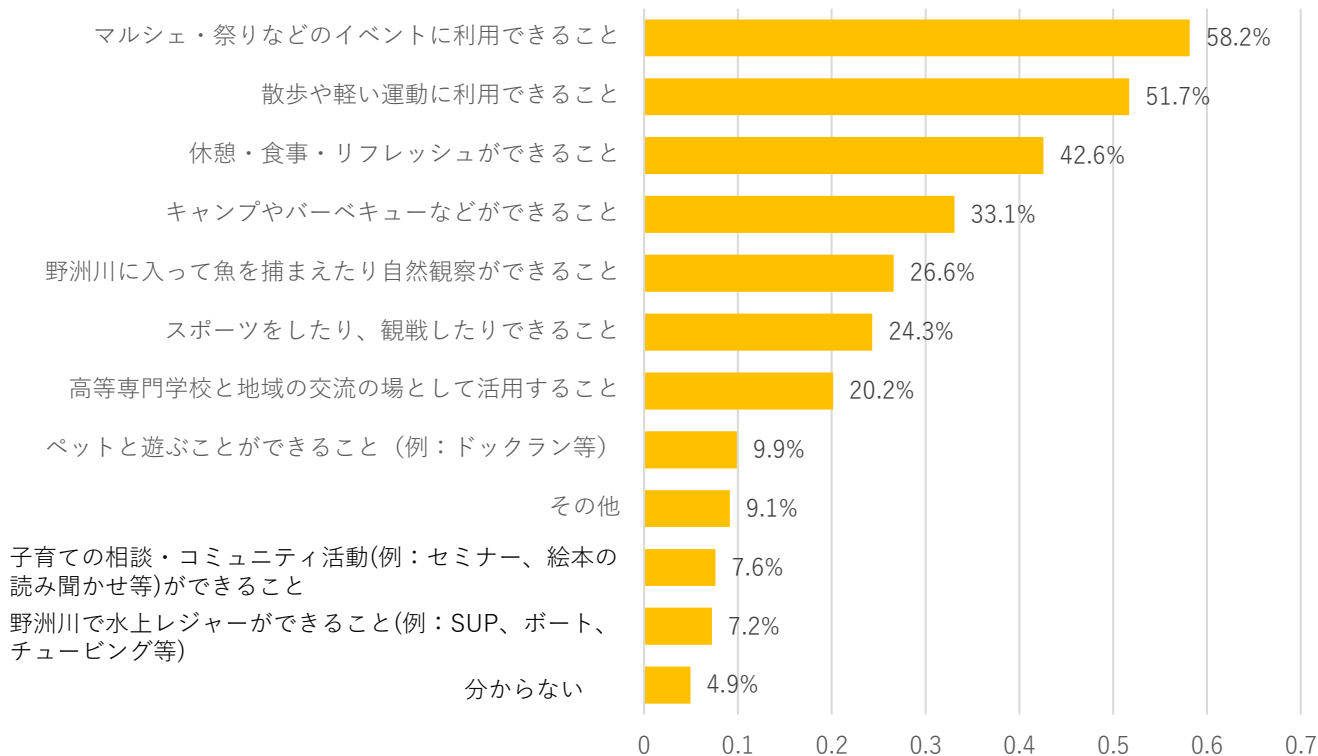
災害時のMIZBEステーションに期待することや意見(n=113/N=263) (%)



アンケート調査結果

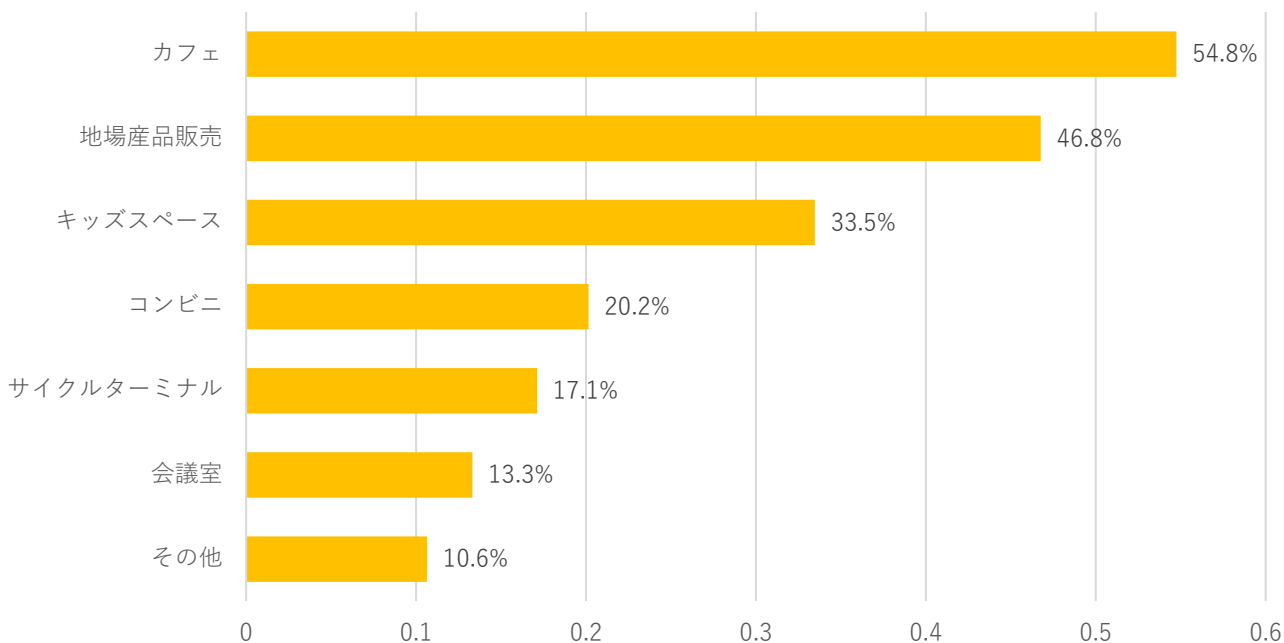
■ 平常時の利活用について、期待する機能（複数回答3つまで）（N=263）

平常時の利活用について、期待する機能（n=777/N=263）(%)



■ 平常時に建物（水防センター）の利活用について、期待するもの（複数回答2つまで）（N=263）

建物（水防センター）の利活用について、期待するもの（n=516/N=263）

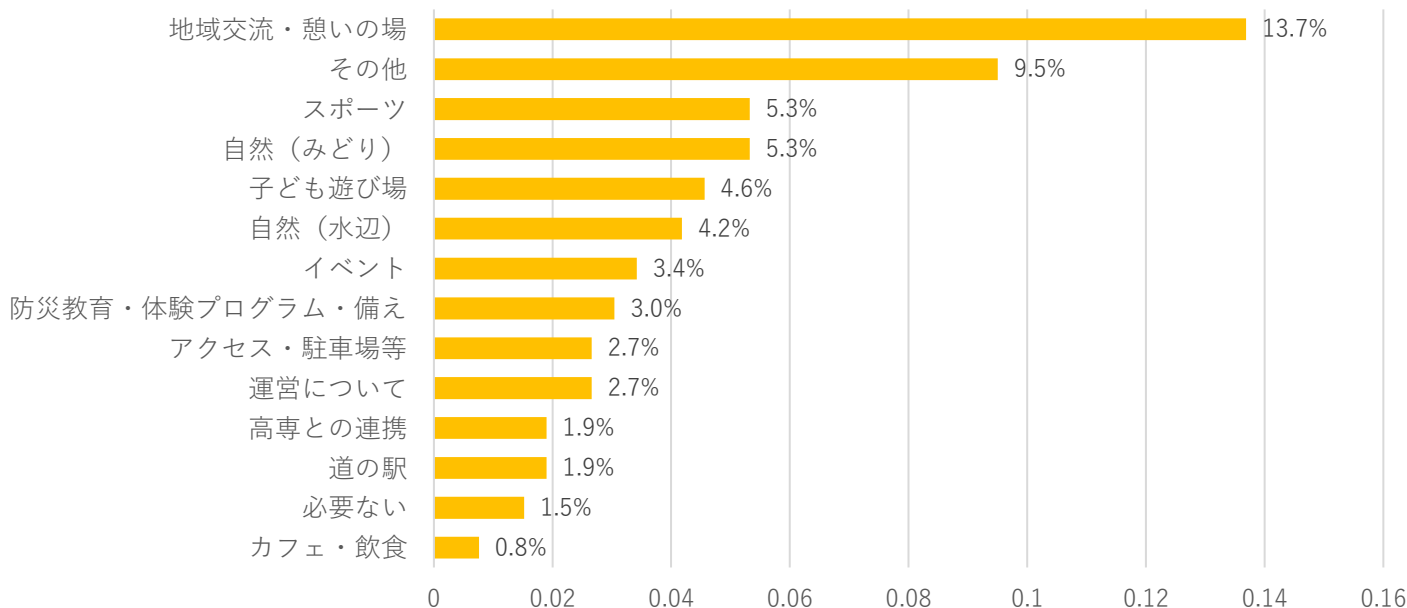


アンケート調査結果

■ 平常時のMIZBEステーションに期待することやご意見（自由記述）

※下記グラフは記述をカテゴリ整理

平常時のMIZBEステーションに期待することや意見（n=159/N=263）（%）



●地域交流・憩いの場

- ・ 市民の憩いの場、集まれる場所
- ・ 地域の方々が集れる場所（飲食、公園、趣味など）になることを期待
- ・ 開放的で景観も良ければいい
- ・ せっかく造るなら常時活用、子どもから高齢者まで、気軽に利用できるよう開けた場
- ・ 多くの市民が関わりしほを持てる場所へと育てていくのが良い
- ・ 冒険遊び場や、未満児の親子の居場所、不登校児童生徒の居場所にもなり、評価されない、制限がない安心できる場所になればいい
- ・ 観光客ではなく、地元住民が使い勝手のよい施設設備にして下さい
- ・ 市民の憩いの場として普段から馴染みのある場所になることが防災や水防への意識醸成に繋がると思う 等

●自然（みどり）、（水辺）

【水辺】

- ・ 川の流れるに触れることができる親水エリア（魚釣り、ボートなどを下ろしやすいスロープ等）
- ・ 対岸まで渡れる飛び石を設置すれば、水辺を身近に感じられ、また守山サイドと連携したレクリエーションエリアとなる
- ・ 小さな子から大きな子や大人まで春先から秋まで水に親しめる、浸水公園を作って欲しい
- ・ 自然に親しむ場、水辺の生き物と接することができるスペース

【みどり】

- ・ 野洲川の自然をリラックスして楽しめる空間
- ・ 自然の森の樹木（大木）を出来るだけ残して欲しい
- ・ 自然豊かな野洲の特色を生かして欲しい。自然に親しむ場として活用したい
- ・ 野洲にしかない自然への取り組み、共存への意気込みが表れている場所となってほしい 等

●スポーツ・健康

- ・ スポーツなどいろいろな遊びを提供できる場、興味を持てる場
- ・ スポーツや遊びを通して、子ども同士がかかわれる場を充実させてほしい
- ・ 子供たちが外で遊べる、大人たちの健康維持に資する屋根のある施設
- ・ 市民の健康増進エリア 等
- ・ 具体のスポーツ名：バスケットボール、スケートボードパーク、健康器具、ウォーキング、ジョギング、アーバンスポーツ、ボルダリング、ボール遊び